



# 芝山小だより

10月号

清瀬市立芝山小学校

校長 清水 一臣

<http://www.kiyose.ed.jp/>

令和元年度第67回芝山小学校運動会スローガン

## 「あきらめず 赤白ともに かけぬけろ」

副校長 中島 孝

9月28日(土)、さわやかな秋空の下、長い歴史と伝統ある芝山小学校、第67回運動会を実施することができました。今年のスローガンは

「あきらめず 赤白ともに かけぬけろ」

どの子も全力で取り組み、生き生きとしていました。

笑顔いっぱい、元気いっぱいの一・二年生「まあスカッと、マスカット」、真剣な表情でカッコ良くポーズを決めた三・四年生「肝高の阿麻和利 芝山っ子」、フラッグを巧みに操った五・六年生「絆 ～心をひとつに～」の演技。

最後まで力を出し切った競技種目。高学年がリーダーシップを発揮して盛り上げた全校競技や係活動。練習に練習を重ねた応援団の応援合戦。そして、みんなで輪になり踊った芝山音頭。一・二年生の玉入れ競技では、チェッコリの音楽に合わせて応援しながら踊っている三年生以上の児童や参観していた卒業生も一緒に踊り、楽しんでいた姿は大変微笑ましく感じました。会場全体が和やかな雰囲気の中にも、もちろん勝敗に一喜一憂した熱い運動会になりました。



学校行事には、「子供たちをよりよく変える」力をもっています。ひとつの達成感や友達との一体感、そして「やればできるんだ」という大きな自信にもつながっていきます。子供たちには、この経験を次に生かして、よりよく頑張ろうという前向きな気持ちを持ち、日々の生活を送ってほしいと願っています。

さて、このような運動会が盛大に実施できたのは、主役である子供たち一人一人の頑張りはもちろんですが、その陰には多くの方々の支えがあったからこそその成果です。長時間にわたり、温かな拍手と声援を送ってくださったご来賓の皆様、地域・保護者の皆様。旧職員、学童クラブ、まなべーの方々。綿密に計画を立て、お手伝いしていただいたPTA イベントサポーターの皆様。芝生の維持管理に関わっていただいたみどりの絆プロジェクトの皆様。そして、運動会当日の後片付けでは、子供たち、教職員と一緒に、快く力を貸していただいた保護者・地域の皆様。見えないところでたくさんの方々にご尽力いただきました。心から感謝申し上げます。誠にありがとうございました。

今後とも、本校の教育活動により一層のご理解とご支援をいただきますよう、お願いいたします。